

## 平成28年度北九州市交通安全対策会議 議事録

■日 時：平成28年8月26日(金) 15:00～16:30

■場 所：北九州市役所本庁舎3階 特別会議室B

■出席委員：13名（敬称略）

会長：梅本（会長代理）

委員：鶴、重松、丸山、渡邊、田島、二宮（中野委員代理）、  
緒方、小名川、多田、藤野、佐藤（岸田委員代理）、西澤

■内 容：

1 開 会

事務局長（市民文化スポーツ局 安全・安心推進部長）

2 挨拶

副市長

3 議 題

- ・第9次北九州市交通安全計画（案）について
- ・平成28年度北九州市交通安全実施計画（案）について  
事務局長より説明

審 議

審議の内容は以下、審議記録のとおり。委員の意見を踏まえ、第9次北九州市交通安全計画（案）及び平成28年度交通安全実施計画（案）について全会了承。

4 閉 会

事務局長（市民文化スポーツ局 安全・安心推進部長）

## 審議記録（要旨）

### ○自転車の安全確保について

#### 【委員意見】

自転車は車道が原則だが、子供を自転車に乗せて車道を走ると危険を感じる。

#### 【事務局】

道路交通法では原則「自転車及び歩行者専用」「普通自転車歩道通行可」などの標識・標示がある歩道以外は車道を走るのが原則になっている。ただし、13歳未満の子供や70歳以上の高齢者などは、歩道を通行できる。

#### 【委員意見】

高校生の自転車のルールが非常に不安だというところがよくある。しっかり教育が必要ではないかと思う。

#### 【事務局】

警察の取り組みにはなるが、「自転車利用者に対する交通安全教室の実施状況」では、平成27年は県下で98回、約6万人の高校生に警察から指導をしている。

#### 【委員意見】

市内の全中学校で中学2年生全員に、自転車のルールやマナーを学ぶ「自転車交通ルール検定」を実施している。自転車は被害者になる形が多いと思うが、加害者ともなり得るのでそこも盛り込んでいる。

また、洞北中学校が、公益財団法人日本交通管理技術協会が指定する自転車通学安全モデル校になった。これは全国で34校しかなく、中学校では福岡県に1校だけである。全国のモデルとして、学校で取り組んでいる。

#### 【委員意見】

自転車運転免許講習会について、子供にマナーなどの意識を高めた上で自転車に乗らせるというのが大切で、意識を高めていく取り組みができれば良いと思う。また、最終的には保護者の方々の意識を高めないと小さい子たちの意識は変わらないので、啓発等をより行っていただきたい。

#### 【委員意見】

高校生の自転車がいきかいして結構危ない。赤で車が止まっても、車と車の隙間を自転車で横切ったりすることもある。

## ○飲酒運転撲滅について

### 【委員意見】

福岡市で飲酒運転により幼い子供たちの命が奪われたというのが8月25日で、ちょうど10年前になる。10年前の事故が風化をしているような状況があり、飲酒事故が増えてきている。県や市と一緒にやりながら、飲酒撲滅を本当にしっかり取り組まなければいけない。

### 【委員意見】

各団体の会議や会合などの中で飲酒運転の撲滅を取り上げ、また、飲酒会合等があった時に、誰かが飲酒運転をしようとしたら、絶対にそれは止めていただきたい。飲酒運転の要因の1つにアルコール依存の問題もある。警察に捕まらずに、あるいは交通事故を起さずに常習的に飲酒運転を続けている人も中にはいると思う。警察の指導取締り、様々な団体による広報啓発活動、本人の自覚、皆それぞれが協力し合うことが飲酒運転撲滅には必要だと思う。

## ○生活道路における安全確保について

### 【委員意見】

大型車について、できる限り都市高速道路に乗ってもらえるようにすれば、交通環境も良くなり、交通事故も減ると思う。

### 【事務局】

第9次北九州市交通安全計画（案）の中で「高速道路の更なる活用推進による生活道路との機能分化」を掲げているが、なるべく通過交通は都市高速道路に乗っていただき、生活道路は普通の方が使うなど働きかけるよう心掛けていきたい。

### 【委員意見】

「ゾーン30」について、小倉北区ではあまり見ないがどこかあるのか。

### 【事務局】

小倉北区では西小倉駅前にある。平成27年度は市内で10箇所整備され平成27年度末で合計38箇所設置している。

## ○子供の安全確保について

### 【委員意見】

子供の交通安全で、保育所・保育園があるが、ほぼ年間計画の中に交通安全教室が織り込まれており、100%に近く安全教室が開かれていると思う。その中で、チャイルドシートの啓発ポスターなどが少なくなったと思う。保護者が集まる時に常々言ってい

ないと、これが後々の子供たちの交通安全意識につながっていくのであろうと思う。一時期、かなりシートベルトの啓発を行っていたが、最近少なくなったと思うので、啓発を引き続き継続してほしい。

**【事務局】**

春・夏・秋・年末の4期で交通安全運動を各区役所、各警察署など様々な団体を含めたところでやっている。その時にチャイルドシートと全座席のシートベルトの着用ということを一緒に啓発をしている。引き続き啓発を行いたい。

**【委員意見】**

八幡西区交通安全母親クラブ「瀬々らぎ会」は、年に2校中学校を訪問して、おふくろからのメッセージ「無事帰ろう」というカエルのマスコットを配布している。

**【委員意見】**

保育所や幼稚園に行く前の世代の子供がいる保護者たちは、交通安全啓発の機会があまりないと思う。そういう方々に周知できるような場を設けてもらえたらよいと思う。

**【委員意見】**

子育て支援事業で各園が市民センターに出向き、いろいろな遊びなどサークル活動を提供する中で、未就園児の親子に、交通安全ということも含めて話をしている。